

ベトナムの新年、今年は猫年！

ベトナムでは中国の春節と同様に旧暦で新年をお祝いします。旧正月のことを「テト」と呼び、1週間ほどの休暇があります。テト休暇は毎年日程が異なりますが2023年は1月20日から1月27日の7日間がテト休暇になりました。ベトナムではテト休暇を家族で過ごすものとされ、多くの人々がハノイやホーチミンといった都心部から田舎へ帰省します。

◆ベトナムでは今年は猫年

ベトナムの干支に用いられる十二支は、子、水牛、寅、猫、辰、巳、午、山羊、申、酉、戌、豚となっており、日本と比べると牛・兔・羊・猪の四種類の動物が違う動物になっています。日本では今年は「兔年」ですが、ベトナムでは「猫年」です。

なぜ「猫」になったのか諸説あるようですが、十二支の漢字「卯」の中国語の発音「マオ」がベトナム語の「メオ（猫）」に近いこと、ベトナムでは農家が多く作物を食べる鼠を追い払ってくれる猫が敬われてきたことなどが理由と考えられています。今年は新年を祝うために街中の様々なところで猫をモチーフとしたモニュメントやイラストが施されていました。



新年を祝うために設置された猫のモニュメント

◆ベトナムでもお年玉がある？

ベトナムでも新年を迎えるにあたり、日本と同じようにお年玉を配る文化があります。また、ベトナムではお年玉を渡す相手も幅広く大人から子供に渡すだけでなく、一般企業の中では会社の上司が部下に渡すことが習慣になっています。

また、旧正月が近づくと様々なデザインのポチ袋（お年玉袋）が店先にならびます。主にはその年の干支が「Chuc Mung Nam Moi（明けましておめでとう）」という言葉とともにあしらわれています。テト休暇明けの最初の出勤日には様々なデザインのお年玉袋とともにお年玉が配られ、とても賑やかに新年の始まりを迎えます。



猫をモチーフにした様々なデザインのお年玉袋

ベトナムでも旧正月には家族で過ごすため帰省したり、干支の十二支やお年玉など日本の正月と共通点が多くありますが、細かい部分で違いがあり文化の違いを感じますね。

(ベトナム・ハノイ駐在 天野 翔平)

【お問合せ先】

七十七銀行 市場国際部 アジアビジネス支援室
TEL.022-211-9880

【Global Letter NEXT ホームページ】

その他の記事はこちらからご覧ください。

https://www.77bank.co.jp/kokusai/globalletter_next/



本紙記載の内容につきましては、当行が信頼できると考える情報に基づき作成しておりますが、その正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談いただくようお願い申し上げます。